



きんぐみだより

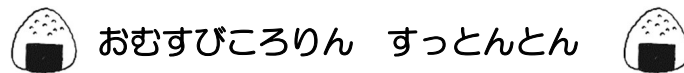
社会福祉法人尚徳福祉会 生麦保育園
2022年度 11月号

園庭の金木犀も散り始め、葉っぱも秋色に変わり、季節の移り変わりを感じます。気温が上がったり下がったり、まだまだ気温の変化が激しい日が続きますね・・・気候に左右されず、健康に過ごせるようにしていきたいです。先日は、運動会、バス遠足など様々な行事にご協力頂きありがとうございました。



なわとびブーム

縄跳び、大縄ブームがきました☆4歳、5歳の年齢になると、両足跳びが少しずつできるようになる時期です。縄跳びは上手く縄を回せずに引っかかってしまいがちですが、諦めずに取り組む姿が見られます。大縄では、縄が下に降りてきたタイミングで上手く跳べるようになってきました。リズムよく跳べるようになり、最高で78回跳べる子もいます。最近では、2～3人で一緒に跳ぶ子も増え、友たちとタイミングを合わせる、縄とのタイミングを合わせることはとても難しく、たった数回でも子どもたちにとっては大きな喜びになります♪まだまだ身体的、体幹的にも不安定なことがあります。こういった遊びを通して体作りをしたり、発達を促したりなど、健康に過ごせるようにしていきたいです。



おむすびころりん すっとんとん

おたのしみ会の時期になりました♪今年いきりん組は『おむすびころりん』に決まりました。本の中に「おむすびころりんすっとんとん♪もひとつころりんすっとんとん♪」の歌がでてくるのですが、絵本を読むたびに楽しそうに歌っています。役決めでは、登場人物をみんなで確認し、話し合ったり譲り合ったりして決めました。まだまだ練習の段階なのでこれからどうなっていくのかは未定ですが、子どもたちがいきいきした姿で参加できるようにしていきたいです。恥ずかしがってしまったり、運動会の時と同様に「ほいくえん、いや」となったりしてしまうかもしれませんが、それも子どもたちの姿として受け止め、参加できるようにしていきたいです。お子さまの頑張る姿を保護者の方も一緒に見守り、時には暖かいことば、励ましのことばを掛けながら関わっていただくと幸いです。

どんぐり探検へ

どんぐりを探しに子安台公園まで散歩に行きました。公園に着いてすぐ、どんぐりの木を発見！と思った瞬間、木からどんぐりが落ちてきて、みんなで顔を見合わせて笑い合いました。ただどんぐり探しをするのではなく、どんな種類のどんぐりなのか、葉っぱはどんな形なのかも調べました。「はっぱは、まっすぐのかたちだから、もしかしたらマテバシイかな?」「でも、こっちはっぱは、ちょっとまるいね」など、2種類の葉っぱを見比べながら、なんの種類なのかを調べました。同じ種類のどんぐりでも、赤ちゃんどんぐりやおでぶどんぐりなど様々で、嬉しそうに保育士や友だちに見せていました。豆知識で「どんぐりを拾ったら、カラカラ音がするか確かめてね。もし音がしたら虫さんに食べられているかも?」というので、耳で音を確認しながらどんぐりが虫に食べられていないか確認し、平気そうなものだけ袋に集めていました☆いつの間にかどんぐりは山盛りに!!嬉しそうに持ち帰りました。また散歩に出掛けたら季節ならではの遊びや自然物集めをしたいです。

